

ダブルカットバリダフロアブル

■種類名：カスガマイシン・トリシクラゾール・バリダマイシン水和剤
■有効成分：カスガマイシン塩酸塩 ----- 1.37%
[カスガマイシンとして ----- 1.20%]
トリシクラゾール ----- 8.0%
バリダマイシン（バリダマイシンA） ----- 5.0%

■登録番号：第22919号
■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指している通称)
■登録初年：2011.04.20
■性状：淡黄赤色水和性粘稠懸濁液体
■有効年限：3年
■包装：500ml×20本、20ℓ×1缶

【特長】

- いもち病防除剤ダブルカットと紋枯病防除剤バリダシンの混合剤。
- ダブルカットは、いもち病菌の侵入を阻止する予防効果と、二次感染を阻止することによる蔓延阻止効果が長く持続することで、優れた残効性を示す。
- バリダシンは、紋枯病の進展阻止効果に優れる。

【適用内容】（2024年11月末日現在）

作物名	適用病害名	希釈倍数	使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
稲	いもち病 紋枯病 もみ枯細菌病	1000倍	60~200ℓ/10a	穂揃期まで	2回以内	散布
		300倍	25ℓ/10a			無人航空機による散布
		8倍	800ml/10a			空中散布

カスガマイシンを含む農薬の総使用回数	トリシクラゾールを含む農薬の総使用回数	バリダマイシンを含む農薬の総使用回数
4回以内 (種子浸漬は1回以内、育苗箱への処理は1回以内、本田では2回以内)	4回以内 (育苗箱への処理は1回以内、本田では3回以内)	6回以内 (育苗箱灌水は1回以内、本田では5回以内)

【効果・薬害等の注意】

- 使用前によく振ってから使用すること。
- 稲に使用する場合、次のことに注意すること。
 - ◆ 株元、葉鞘部に対しても散布むらのないよう全体に均一に散布すること。
 - ◆ 紋枯病に対する本剤の防除適期は病斑の上位葉鞘への進展初期の頃であるので病斑の進展を確認してから適期に散布すること。
- 杉(特に苗木)、れんこん及び大豆には薬害を生じるおそれがあるので、付近にある場合にはかからないように注意して散布すること。
- 野菜類の幼苗及びなし(二十世紀、幸水、新水等)には、薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- きく(秀芳の力等)には薬害を生じるおそれがあるので、かからないように注意して散布すること。
- 本剤を空中散布及び無人航空機による散布に使用する場合は次の注意事項を守ること。
 - ◆ 各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ◆ 散布にあたっては散布機種種に適合した散布装置を使用すること。
 - ◆ 散布中、薬液の漏れの無いように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ◆ 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
 - ◆ 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意すること。
 - ◆ 作業終了後は次の項目を守ること。
 - ① 使用後の空の容器は放置せず安全な場所に適切に処理すること。
 - ② 機体散布装置は十分洗浄し薬液タンクの洗浄液は安全な場所に処理すること。
- 稲に対して希釈倍数300倍で使用する場合は、少量散布に適合したノズルを装着した乗用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 誤飲などのないよう注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせること。
- ❖ 本剤は眼に対して弱い刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗すること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温な場所に密栓して保管すること。